

### 3、自主的活動を促す学校行事

学校行事の目標は、学校生活に秩序と変化を与える集団活動によつて、児童生徒の心身の健全な発達を図り、併せて学校生活の充実と発展に資するこどである。その指導に当たつては、次のような配慮が必要である。

ア 児童生徒の健康や安全を考慮し、負担過重にならないようすること。

イ 事前、事後の指導を適切に行い、ねらいや意義を理解させるとともに、活動への意欲を育成すること。

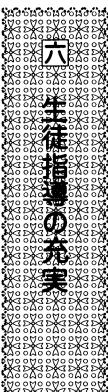
ウ 児童生徒の参加意欲を高めるため

に、児童生徒に任せる範囲を明確にし、計画の段階から児童生徒を参加させ、児童生徒の意向もできるだけ尊重すること。

エ 学校行事は、児童生徒と触れ合う場面が多いので、意図的に望ましい人間関係の育成に努めること。

### 4、学業生活を充実させる学級指導

#### 1、生徒指導充実の基盤



学業生活を充実させるためには、児童生徒の学習意欲を高め、学習習慣を身につけるための援助指導を進めることが大切である。  
そのためには、一人一人の能力・適性を的確に把握し、意欲をもつて学習を取り組めるよう、学業生活の改善と充実に努める必要がある。  
児童生徒の学業に関する問題は、さ

まざまな要因が複雑にからみ合っている。したがつて、適切な学業指導を進め追究していくには、一人一人の児童生徒の応じて援助指導を進めることが極めて大切になつてくる。

学業生活の指導に関する課題には、次のようなことが考えられる。

ア 新しい学級や学校生活への適応  
イ 指導場面における学習意欲の喚起  
ウ 望ましい学習態度、習慣の育成  
エ 学習に対する興味・関心の高揚  
オ 学習の仕方の改善  
カ 学習のつまずきへの診断と治療  
キ 家庭学習の習慣の形成  
ク 学習能力、学習成就に関する悩みの解消と進路の適切な選択と治療  
力の育成

#### (2) 生徒指導の機能を取り入れた教科指導の展開

児童生徒の非行等の増加に伴い、学校においてもその対策が強く要請されているが、本来の生徒指導は非行対策といった、いわば消極的な面にだけあるものではない。積極的にすべての生徒のそれぞれの人格の良き発達と、学校生活が生徒の一人一人にとって、様々な集団にとつても楽しく充実したものになることをめざすところにある。

#### (3) 道徳教育、特別活動の重視

問題行動を起こす児童生徒は、一般的に善惡の判断が不十分で、社会規範や学校のきまりを遵守する意識が低い。また、基本的な学習習慣も身に付けていないことが多い。

したがつて、道徳教育の一層の充実を図り、生命に対する慈しみの心、他



ふれ合いの中から豊かな人間性をはぐくむ